

【水の三つの顔】

福岡県

久留米信愛中学校

三年 倉富 樂

水は、人間の人生や、日常生活で、絶対に欠かせないものです。そして私は、人間と同じように、いろいろな「顔」をもっていると思います。皆さんは、水についてどんなふうに感じますか。私は、水には主に、「三つの顔」があると思います。

一つ目は、日常生活で欠かせない、人間を支える水、「優しい顔(水)」です。私は、小学五年生の頃から、朝起きて洗顔をしているのですが、ニキビもできにくいし、肌がうるおいます。そして、何より冷たい水で洗っているので、目が覚めて、スッキリした気持ちで学校に行くことができます。また、料理にも水は欠かせません。水を加える事によって、料理に味がしっかりと染み込み、ふっくらとした仕上がりになり、おいしさが増します。他にも、お風呂やシャワーなどの体を温めてくれる水や、食器洗いや洗濯機などを回す水など、朝からずっと私たちを支え、幸せにしてくれます。

二つ目は、心の動きを映す水、「涙の顔」です。涙を流す事で、その人の心情を、深く読みとる事ができます。例えば、悲しい時や悔しい時に流れる涙や、嬉しさなどの感動でこぼれる涙、安心してほっとした時に流れる涙などがあります。さらに、涙のこぼれ方でも心情が読み取れます。そつとこぼれる涙は控えめな悲しみを、あふれる涙は、強い感情が一気にあふれでる思い、ポロポロ流れる涙は、じわじわと込み上げてくる思いなど、涙でその人の感情を豊かに感じ取る事ができます。そして、涙を流すと気持ちが軽くなり、スッキリした気持ちになります。

最後三つ目は、日常で私たちを支えてくれる水も時には、私たちを危険にさらす水害です。普段は、私たちを支えてくれる優しい水ですが、水害となるとたちまち「怖い顔(水)」になります。大雨や台風などで川があふれ、田んぼや畑などに浸水し、米などの作物がとれなくなります。

そしてひどい場合、家やスーパーが崩れ、命の危険にさらされる事だってあります。水害が終わってからでも、元の生活に戻るまでには長い時間がかかってしまいます。大切にしていたい思い出の品や写真などのたくさんの物が流されてしまうため、人々の心の傷が大きくなります。また、水害で、水道や電気が止まって、当たり前でできていた生活ができなくなり、食事などもとれなくなってしまうです。

このように、水には、私たちの生活を支える「優しい顔」、人の心を表す「涙の顔」、そして命を脅かす「怖い顔」という三つの顔があります。私はこれまで、水は当たり前にあるものだと思っていた。しかし、改めて考えてみると、水があるからこそ、私たちは生活できているのだと気づきました。そして、水はとても便利で大切な存在である一方で、使い方や自然の変化によっては危険な存在にもなることが分かりました。だからこそ私は、水をこれからもっと大切にしていきたいと思います。水を出しっぱなしにしない、無駄使いをしないなど、日常の小さな事から意識していきたいです。また、水害についての知識を身につけ、いざというときには自分や周りの人の命を守るようにしたいです。水は、私たちにとって、なくてはならない存在です。その様々な「顔」を理解し、水と上手に向き合っていくことが、これからの私たちにとって大切だと感じました。そして、私たち一人一人が水を大切に使い、感謝の気持ちを忘れずに生活することが、豊かで安全な未来につながると思っています。これからも、水のことを意識しながら、毎日の生活を大切にしていきたいです。